

ついて十分配慮しながら、児童生徒の健康管理に万全を期しているところです。

えみ) 予防対策には、若い世代10代～20歳代前半の1回接種世代に対してのワクチン対策、抗体検査等、国を中心に対策をとって行く中で、岩沼市としても先駆けて取り組んでほしいと思うが、どうか。

市長) 市としての確で、効果の上がる方策については、検討し、できることにつきましては実施をしたいと考えています。

～ 新型肺炎(サーズ)対策について ～

新型肺炎は重症急性呼吸器症候群サーズ、またはサーズとも呼ばれている。

岩沼に国際空港があることを考えると、旅行者、物流等の影響も考えなければならない。

えみ) どのような対策を講じてきたのか。

民生部長) 宮城県の「重症急性呼吸器症候群(サーズ)対応行動計画」に基づき宮城県が中心となって対応することになります。市としましては、県と連携を図るとともに、情報収集等を行っていくこととなります。

えみ) 発症した場合のシュミレーションはどのようになっているのか。発症を想定しての訓練の必要はないのか。



民生部長) 市としては、情報収集、市民への啓発に力を注いでいきたいと考えています。

これまでは訓練に参加したことはないが、今後保健所を通し、参加させていただくよう申し入れをしていきたいと考えています。

えみ) マニュアルの策定はあるのか。

民生部長) あくまで県の計画に沿って行動するという形になっていますので、市としてのマニュアルは作成していません。

えみ) 1日も早く、訓練に参加する、関係の担当職員の方々と協議するとか、そういった場を持つていく事はどうか。

市長) 事前対応が大切だということは理解しているので、市でできる範囲のことは、しなければならないと基本的に考えています。

えみ) サーズだけではなく、感染症対策については、健幸先進都市として、健やかに幸せで暮らせるまちであることから、色々な施策の中でも大切に取組んでいただきたい。

2 地球温暖化対策について

地球温暖化の影響については、色々取りざたされているところであり、異常気象や水位や水温の上昇により、野生動物の生態系にも狂いが出ている。

この地球は誰の所有物でもなく、今を生きる私達が先人から受け継ぎ、次世代に伝えて行くべきものと考えます。

その視点から、質問。

えみ) 健幸先進都市岩沼として地球温暖化対策に、より積極的な推進を目指すべきと思うが市長の考えを伺う。クールビズへの積極的な取組みを推進すべく、市をあげて「6月からのクールビズ導入」をすべきではないか。

市長) はい、その通りします。

えみ) 職員自身の地球温暖化対策に対する学習機会はどうか。

民生部長) 施設ごとに年2回、環境点検調査表を作成や、二酸化炭素排出量抑制の達成率などとあわせて職員に周知していることが意識啓発につながっていると思われるので、改めて学習機会を設けることは、考えていません。

えみ) 目標値が早くも達成できたということで、ある一定の効果が上がっているといえるが、職員研修の場等で知識を

共有することもより積極的な推進に繋がると思えるが、どうか。

市長) 役所全体で改めて地球温暖化防止の対策の学習会というところまで行えないというふうに思っています。

～ 環境学習への積極的な取組み推進について ～



えみ) ワークショップ開催での市民への啓蒙活動はどのように進んでいるのか。

民生部長) 温暖化防止対策など、パネル等を利用して市民の皆様にはわかりやすくアピールするような活動を実施していきたいと考えています。

えみ) 猛暑になると電力消費量が大きく伸びる。電力消費量が伸びると二酸化炭素排出量も増えることが危惧される。そこで生きてくるのが、先人達の知恵! 東京都内では、地域一斉に打ち水をして、暑さを凌ごう、といった取組みもある。

そこで☆

市民の皆様から、「我が家の省エネ対策」といったような提案を寄せていただき、広報や市のホームページ内に紹介してはどうか。(これは、平成17年6月議会で私が質問、市長が「十分検討してみたい」と答弁しているが、その後どのように検討したのか)

市長) 検討した結果、まずは十分な啓蒙活動を行うという意味で、今後とも省エネ対策について掲載をし、それをよく御理解をいただき、次の段階で、今御提案をいただきましたように、さらにアイデア等を募集するという対応にしたいと考えています。

えみ) 市のホームページからは、省エネセンターにリンクを張っているが、他にも環境問題に関するサイトはある。

*なぜ、省エネセンターへのリンクなのか?

他にはないのか?(県のサイトも子ども向けの情報があって親しみやすいのではないか)

検討の余地があるのではないか。

民生部長) 当分はこの情報の中で十分なのかなと考えています。

えみ) 宮城県の環境問題サイトも、子ども向けコーナーもある。今後検討されてはどうか。

民生部長) 把握していませんので、今後研究してみたいと思っております。

えみ) 次の段階で、(仮称)エコフェスタを開催して、市民の皆様と共に日常の暮らしからの気付きの場を持つてはどうか。

民生部長) 今年のワークショップを「気付き」の場としたい。

えみ) 参加型の内容を増やしていくこと。例えば電気料金レシートを省エネを心がけて前年度と比較する、というのも楽しみながら、皆さんの意識を高めることになると思う。いかがか。

市長) 市民の皆様の方に適切にわかりやすく、また確実にやっていただけるようなことについては、市としてもできるだけそういう方向で取り組めるよう進めていきたいと思っております。

皆様のお声を「布田えみ」、にお聞かせ下さい。

☆ お茶懇談会(何人でもお友達を集めていただいたら布田えみ、がお伺いいたします)

☆ 政策提言のアドバイス

☆ その他

えみレポート発行

布田えみ応援団事務所

〒989-2448 岩沼市二木1-4-1-17

(☎) 0223-22-0982

(ファクス) 0223-22-0896

http://www.fuda-emi.net

